

2023年度入試

入学試験問題集

【大学院心理学研究科 修士課程】



東京成徳大学大学院

心理学研究科臨床心理学専攻

目 次

修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験	英語	1
修士課程 1 期入学試験	小論文	3
修士課程 1 期・学内推薦 1 期入学試験	専門科目	4
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験	英語	8
修士課程 2 期入学試験	小論文	10
修士課程 2 期・学内推薦 2 期入学試験	専門科目	11
出題意図・解答例		13

●修士課程1期・学内推薦1期入学試験

【英語】（試験時間：60分）

問題1 以下の英文を読んで、設問に解答して下さい。

By playing out their feelings in the presence of ①the play therapist who understands and accepts even the intensity of the feelings, children learn that all of their feelings are acceptable. As children begin to experience that their feelings are acceptable, they begin to be more open in expressing them. The play therapist communicates understanding and acceptance of a child's feelings by verbally labeling the feeling. (You're frustrated with that.) When feelings are accepted by the therapist and reflected to children, they learn to trust their feelings. Reflecting a child's feelings validates the child and her feelings and facilitates the child's trusting of herself. The essential quality in reflecting a child's feeling is the communication of empathy, a feeling of being with in the experience. (中略)

The accepting therapist recognizes each feeling as being valid and so accepts each feeling. No attempt is made to convince the child that there is no good reason for feeling the way she does. Some therapists, unaware of ②their own needs, reject a child's feelings in the process of trying to unnecessarily reassure the child or make the child feel "better." Andy acted out an elaborate scene in the dollhouse involving a child playing alone in a room and the mother doll coming into the room and stabbing the child doll repeatedly. Considerable fear was acted out as the child doll tried to escape. In a following scene, the mother doll came into the child doll's bedroom, carried the sleeping doll outside the dollhouse, and threw the child doll into the lake (sandbox).

During this enactment, Andy verbalized his fear that, "Mother will get me. She's going to do something real mean to me." Having interacted with the mother in initial interviews and follow-up sessions, the therapist responded, "Andy, you know your mother loves you, and she would never ever do anything to hurt you." Although the therapist may have substantial evidence on which to base her conclusion, the therapist can never be completely sure of another person's behavior. We cannot speak for other people. We simply do not know what may take place in another person's home.

In her need to reassure Andy, the therapist ignored his feelings and so Andy did not feel understood. The therapist felt better, but at what expense? ③A more appropriate response that would reflect Andy's feeling would be, "A".

出典： Landreth, G. L. (2012). Play therapy: The art of relationship, 3rd edition, 219-220, Routledge.

【問題1】 下線部①について、子供に与える効果を日本語で説明してください。

【問題2】 下線部②について、以下を日本語で説明してください。

- 1) Andy との面接において、具体的に何を指しているか。
- 2) ②によって、Therapist と Andy はどのような結果を得るか。

【問題3】 下線部③の具体的な例を考え、④に当てはまる応答を日本語で記述してください。

問題2 以下の英文を読んで、下線部を日本語に訳してください。

For several reasons the treatment of young adolescents is always difficult. ①Puberty is a period of secrecy and often, while the adults agree that a treatment is urgent, the young adolescent disagrees (Fraiberg, 1955). The therapist is frequently perceived as an extension of the parents, thus strengthening the young adolescent's objection. ②In all likelihood, one of the core reasons for the young adolescent's resistance to treatment is the feeling of humiliation of needing help from an adult to grow up. Alongside this are the intense fears of going crazy. The question of how to motivate a young adolescent to enter treatment has been dealt with by several authors (Aichhorn, 1925; Fraiberg, 1955; Freud, 1958). However, in addition to these initial difficulties, which may lead to a premature ending of the treatment, other problems may arise. ③Because of the rapid shifts between triadic and dyadic positions, it is often difficult for the therapist to find the right mode of relationship with the young adolescent patient. ④During one session the therapist may feel that there is some reciprocal relationship in which the verbalization of feelings is present, whereas the following session the therapist is confronted with a taciturn young adolescent who is unable or unwilling to relate adequately to the therapist and hides behind a feigned stupidity or attitude of contempt. An important reason for these, often rapid, shifts is the narcissistic vulnerability of the young adolescent throughout this developmental phase. The interventions of the psychoanalyst are often experienced as an intrusion, an invasion into the inner world.

(出典: Heuves, W. (2003). Young adolescents: development and treatment. In Green, V. (Eds.) *Emotional Development in Psychoanalysis, Attachment Theory and Neuroscience*. 189-208. Brunner-Routledge. より抜粋)

●修士課程1期入学試験

【小論文】（試験時間：60分）

問題 学校場面で発達障害のある子の支援について論じてください。その際、以下のキーワードを含めること。
「アセスメント」 「支援体制と連携」 「スクールカウンセラーの役割」

●修士課程1期・学内推薦1期入学試験

【専門科目】（試験時間：90分）

以下の課題文および資料を読んで、後の設問に解答しなさい。

問題1 以下の1～10に当てはまる適切な専門用語を解答欄に記入してください。

- 強化なしに、何らかの新規刺激を繰り返し呈示されると、その刺激のことを好きになるという効果のことを（ ① ）と呼び、閾下で刺激を呈示した場合でも、同じような効果が得られる。
- （ ② ）とは、対象の形や配置状態を変えたり分割したりして、それらの外観を変化させても、その対象の数量は一定したままであることの確信であり、ピアジェはこれを操作的思考の指標とみなした。
- ある高さの音を聴くとある決まった色が見えるというように、1種類のモダリティ刺激によって異なるモダリティの感覚経験が生じることを（ ③ ）という。
- 統合失調症に見られる現象で、自分では行動しようと思っていないのに、あたかも何者かに操られているかのような感じで行動することを（ ④ ）という。
- 協調運動技能の獲得や遂行が、その人の生活年齢や技能の学習及び使用の機会に応じて期待されるものよりも明らかに劣っており、不器用、運動技能の遂行における遅さと不正確さを主な症状とする（ ⑤ ）は、DSM5では神経発達症群（神経発達障害群）に含まれる。
- （ ⑥ ）失語（感覚失語）は、発話は流暢で、構音、プロソディにも異常はなく失文法もないが、錯語が多く、語性錯語を中心に字性錯語、新造語もみられ、ジャーゴン、語彙を呈することも多い。
- （ ⑦ ）効果とは、「文字の意味」と「文字色」のように、同時に目にする2つの情報が干渉しあう現象をさす。色名をあらわす単語を使って測定される。例えば、赤インクで書かれた「あか」のインク名を呼称するよりも、赤インクで書かれた「あお」のインク名を呼称するときの方が反応が遅れる。
- 母集団分布について特定の確率分布を仮定しない統計的仮説検定を（ ⑧ ）とよぶ。例えば、母集団分布が正規分布を仮定できない場合にt検定ではなく、（ ⑧ ）であるU検定を用いることができる。
- 古典的条件づけや弁別オペラント条件づけにおいては、条件づけの結果、条件刺激や弁別刺激だけでなくそれらに類似した刺激によっても反応が生起されるようになる。このことを（ ⑨ ）という。
- （ ⑩ ）理論によると、人は一貫性に動機づけられており、2つの認知要素間、とくに態度と行動との不一致があった場合には、心的緊張や不快を経験すると考えられる。この状態が生じた場合に、人はそれを低減したり、解消したりするように動機づけられる。

問題2 次の用語の要点について、日本語で簡潔に説明してください。

- (1) 内田クレペリン作業検査
- (2) 不安階層表
- (3) 縦断的および横断的研究法（の長所と短所）
- (4) 学習性無力感
- (5) ピグマリオン効果

問題3 次の研究レポートは、A大学が学生支援のために、大学生活への適応状態を包括的に把握するためのテストを独自に開発し、信頼性、妥当性を検証した結果をまとめたものです。このレポートを読んで、問1～問5に答えてください。なお、研究内容は全て架空のものであります。

—研究レポート—

【目的】

大学生生活に適応出来ていない学生を早期に発見するためのスクリーニングテストを作成し、信頼性と妥当性を検証することを目的とする。

【方法】

研究協力者： A大学の2年生～4年生 計375名（2年生130名、3年生124名、4年生121名）。

調査内容：①大学生版学校適応スクリーニングテスト（Assessment of School Adjustment for University Student；以下、ASA-U）：先行研究を参考に、行動的機能（認知機能や感情統制）、学業的機能（修学意欲、学業への関心、ドロップアウト）／社会的機能（友情の質・ソーシャルサポート・教師との関係）、学校適応感（満足感や達成感）の3水準で学生の適応状態を包括的にアセスメントできるように項目を設定した。^(a)（項目作成のための予備調査の手続きに関する記述）。この予備調査で挙げられた特徴を整理し、行動的機能、学業的機能、社会的機能の対応するカテゴリーに分類した。最終的に12項目が選定され、「1. 全くあてはまらない」から「4. とてもあてはまる」までの4件法で実施した。

②WHO-5簡易版：精神的健康度を測定する尺度。学校適応との関連が予想される概念として精神的健康度をとりあげた。ASA-Uの（ア）妥当性を検討するために用いた。回答は、「1. 全くあてはまらない」から「4. とてもあてはまる」までの4件法で実施した。

③遅刻と欠席の回数：ASA-Uの（イ）妥当性を検討するために、最も遅刻が多かった授業と最も欠席が多かった授業について、遅刻回数、欠席回数の回答を求めた。

調査手続き：年度初めのオリエンテーション時に、各学年で、一斉配布一斉回収形式で実施した。この調査はオリエンテーションの出欠席の確認を兼ねて実施するため、必ず回答するように求めた。また、再検査信頼性を検討するために、1週間の間隔を空けて再調査を実施した。

倫理的配慮：フェイスシートに、調査目的や個人情報保護、データ管理について十分な説明を記載し、回答をもって調査への協力を同意いただいたものとするを明記した。

【結果と考察】

ASA-Uの12項目について、最尤法、プロマックス回転による因子分析を行ったところ、固有値の減退率（スクリー基準）から3因子が妥当と判断された。しかしながら、^(b)項目12については、共通性が低く、いずれの因子にも.40以上の負荷量を示さなかったため分析から削除することとした。最終的に、3因子11項目をASA-Uの因子構造として採用した。第1因子は行動的機能、第2因子は社会的機能、第3因子は学業的機能に対応していると考えられたため、各因子の因子名としてそのまま用いた。以後の分析では、学校適応感（合計得点）、および3つの下位尺度得点を分析対象とした。

Table 1. ASA-Uの因子分析

項目番号	因子分析 (プロマックス回転後)			共通性
	I	II	III	
< I. 行動的機能 >				
1	.71	.13	.05	.71
4	.66	.07	.06	.65
7	.62	.06	.01	.69
10	.51	.02	.03	.62
< II. 社会的機能 >				
2	.15	.58	.01	.74
5	.08	.54	.03	.52
8	.03	.49	.05	.66
11	.03	.43	.05	.68
< III. 学業的機能 >				
3	.03	.25	.51	.77
6	.02	.06	.46	.56
9	.01	.02	.43	.48
12	.14	.22	.29	.13
r は逆転項目。				
		因子間相関	II	III
		I	.33	-.28
		II		-.31

ASA-Uの信頼性を検討するために、 α 係数を算出したところ、ASA-U合計得点は $\alpha=.90$ 、行動的機能 $\alpha=.82$ 、学業的機能 $\alpha=.91$ 、社会的機能 $\alpha=.89$ であった。さらに、1週間後に再検査を実施し、再検査 r を算出したところ、ASA-U合計得点 $r=.73$ ($p<.01$)、行動的機能 $r=.68$ ($p<.01$)、学業的機能 $r=.61$ ($p<.01$)、社会的機能 $r=.69$ ($p<.01$)であった。これらのことから、ASA-Uの信頼性は概ね良好と判断された。

ASA-Uの妥当性は、(ア)妥当性と(イ)妥当性を検討した。WHO-5との相関は、ASA-U合計得点 $r=.33$ ($p<.01$)、行動的機能 $r=.57$ ($p<.01$)、社会的機能 $r=.32$ ($p<.01$)、学業的機能 $r=.26$ ($p<.05$)を示した。また、遅刻回数との相関は、学業的機能のみ有意な相関を示した ($r=.12$, $p<.05$)。欠席回数との相関は、学業的機能およびASA-U合計得点に有意な相関を示した (学業的機能 $r=.13$, $p<.05$; ASA-U合計得点 $r=.11$, $p<.05$)。これらのことから、ASA-Uは、関連が予想される概念との相関は認められたが、(c)大学適応の基準となる変数との相関が低く、変数の設定や測定方法など研究手続き上の問題があると考えられた。

Table2 ASA-Uと各変数との相関

	精神的健康度 (WHO-5)	遅刻回数	欠席回数
ASA-U合計得点	0.33 **	0.06 n.s.	0.11 *
行動的機能	0.57 **	0.01 n.s.	0.03 n.s.
社会的機能	0.32 **	0.04 n.s.	0.07 n.s.
学業的機能	0.26 *	0.12 *	0.13 *

* $p<.05$ 、** $p<.01$

問1 下線部(a)には、項目収集のための予備調査に関する記述が入ります。次の選択肢①～⑥のうち、ここに入る記述として最も適切なものを1つ選んでください。

- ① A大学の学生を対象に、半構造化面接を実施し、大学生活を楽しむコツについて聞き取りを行った。
- ② A大学の心理学概論の授業を観察し、意欲的ではない学生の授業態度について特徴を明らかにした。
- ③ A大学で担任経験のある教員を対象に、半構造化面接を実施し、大学生活への適応に苦慮している学生と適応的な学生、それぞれの特徴について聞き取りを行った。
- ④ A大学の学生の保護者に、自由記述形式の質問紙調査を実施し、子どもの大学入学後の生活習慣で気になる点について回答を求めた。
- ⑤ A大学の卒業生に、自由記述形式の質問紙調査を実施し、学生時代に、学業成績が優れていた学生の特徴について回答を求めた。

問2 下線部(b)について、共通性の低さ、因子負荷量の低さには、どんな意味があるのでしょうか？簡潔に説明してください。

問3 下線部(c)について、研究手続き上の問題として考えられることはどんなことですか？また、その問題に対応するためには、研究手続きをどのように改善すればよいでしょうか？考えられることを提案してください。

問4 研究レポート中の(ア)と(イ)には、心理尺度の妥当性の種類を表す用語がそれぞれ入ります。(ア)と(イ)の組み合わせとして、適切なものを以下の選択肢①～⑤から1つ選択してください。

- | (ア) | (イ) |
|--------|------|
| ① 弁別的 | 収束的 |
| ② 構成概念 | 基準関連 |
| ③ 基準関連 | 構成概念 |
| ④ 因子 | 理論 |
| ⑤ 収束的 | 弁別的 |

問5 本研究の倫理的な問題点を指摘してください。

●修士課程 2 期・学内推薦2期入学試験

【英語】（試験時間：60分）

問題 1 以下の英文のうち、下線部を日本語に訳してください。

①Starting in the 1970s, psychologists showed that even after misinformation is corrected, false beliefs can still persist (Anderson, C. A., et al., *Journal of Personality and Social Psychology*, Vol. 39, No. 6, 1980).

“When we hear new information, we often think about what it may mean,” says Norbert Schwarz, PhD, a professor of psychology and marketing at the University of Southern California. ②“If we later hear a correction, it doesn’t invalidate our thoughts—and it’s our own thoughts that can maintain a bias, even when we accept that the original information was false.”

③Schwarz identified five criteria that people use to decide whether information is true: compatibility with other known information, credibility of the source, whether others believe it, whether the information is internally consistent, and whether there is supporting evidence (“Metacognition,” in *APA Handbook of Personality and Social Psychology*, 2015). His studies also show that people are more likely to accept misinformation as fact if it’s easy to hear or read (*Consciousness and Cognition*, Vol. 8, No. 3, 1999).

出典: Abrams, Z. (2021) Controlling the spread of misinformation: Psychologists’ research on misinformation may help in the fight to debunk myths surrounding COVID-19. *Monitor on Psychology*, 52, 44. (<https://www.apa.org/monitor/2021/03/controlling-misinformation>)より抜粋

問題 2 以下の英文を読んで、設問に解答して下さい。

With the arrival of the baby, the new mother is likely to start, consciously or unconsciously, to ^(ア)reevaluate her own mother. Here, too, well-established representations are drawn into that postpartum crucible of change. Most often new or at least more elaborated and understand networks of schemas of her own mother emerge. These include her own mother as mother to her when she was a child, as a wife, as a woman, and as the grandmother to the new child.

^(イ)Folk wisdom and clinicians have long suggested that the mother's representations of her mother-as-mother-to-her-in-childhood will greatly influence how she will be as mother to her infant now. Recently there has been an explosion of research on just this point (Fonagy, Steele, Steele, Moran, & Higgitt, 1991; Main & Goldwyn, 1985; Main, Kaplan, & Cassidy, 1989; Zeanah & Barton, 1989). This research not only supports the notion of a strong ^(ウ)intergenerational influence but goes even further and suggests that the nature of the mother's current representation of her own mother-as-mother may be the single best predictor of the pattern of attachment that the mother will establish with her own infant at 12 months of age (secure, ambivalent, ^(エ)_____, disorganized). It must be recalled that the pattern of attachment (Ainsworth, Blehard, Waters, & Wall, 1978) seen at 12 months is proving to be one of the best predictors of a child's general adaptation during the preschool and early school years (see, for example, Grossmann & Grossmann, 1991; Parks, Stevenson-Hinde, Marris, 1991; Sroufe, 1983).

It is not surprising that in large part women learn how to mother from their mothers. We have the concepts to help understand this process, such as modeling, identification, and ^(オ)internalization. A woman can learn from a one. ^(カ)The research on adult attachment, however, has added a new and unexpected dimension to the issues involved in this intergenerational effect. The aspect of the mother's representation of her own mother that is most predictive of her future maternal behavior is not necessarily what happened in the past—whether she had a good or bad mothering experience—but rather the way in which she thinks and talks about her own mother now. Does she talk about these networks of schemas with ^(キ)coherence? with too much or not enough emotional distance? and with what degree of current involvement or dismissal? In other words, the form of the telling may be as important as—or even more important than—the content of what she tells. The narrative of the past history may be more relevant than the past history itself, and the narrative is one exposition of the representation.

出典：Daniel, N. Stern (1995). The Motherhood Constellation : A United View of Parent – Infant Psychotherapy, BasicBooks, A Subsidiary of Perseus Books, L.L.C.

【問題 1】 下線部 (ア) (イ) (ウ) (エ) (オ) を日本語に訳して下さい。

【問題 2】 下線部 (1) に当てはまる単語を英語と日本語で記入して下さい。

【問題 3】 下線部 (2) が明らかにした内容として、正しいものを2つ選んでください。




なお、選択肢中の「母」「母子」は、新しい子どもを迎えた母、あるいは母子を指し、「母親」は、母の母親（子どもにとっての祖母）を指します。

- ① 12ヶ月時のアタッチメントスタイルは、子どもの思春期以降の適応を最もよく予測する。
- ② 今の母親についての、母の考え方、話し方は、話す内容と同じくらい、あるいはそれ以上に、重要だ。
- ③ 母になる女性は、驚くべきことに、自分の母親から子どもの世話の仕方を学ぶ。
- ④ 子ども時代に、母親が自分をどのように育てたかが、子どもにとってどんな母になるかに影響を及ぼすであろうという研究が、近年、爆発的に増えている。
- ⑤ 語りの一貫性は、歴史の真実（良い/悪い母親に育てられた）に勝って、より強力に母子のアタッチメントスタイルを予測する。

●修士課程2期入学試験

【小論文】（試験時間：60分）

問題 公認心理師を名乗るTwitterアカウントが、以下のツイートをしていた。公認心理師であることが真実として、この行為にどのような問題があるか（若しくは問題は無いが）、法と倫理の双方の観点から論じてください。

ツイートの内容	プロフィール画面
 <p>限界公認心理師 @Psy□□□ 1月12日 13:25 長い付き合いのクライアントさんから「就職が決まった」との報告を受ける。いろんな人に報告して回っているが、まず私に伝えなかったらしい。この仕事、こういう話を聞けるのがとてもうれしい。 🗨️ 16 🔄 401 ❤️ 3,460</p>	  <p>限界公認心理師 @Psy□□□ 今日は東へ明日は西へ。3つの現場(なぜか全部医療機関)を飛び回るさすらいの公認心理師1期生。開業したい。 683 フォロー中 2,231 フォロワー</p> <p>フォロー</p>

<参考資料①：公認心理師法（抜粋）>

第四章 義務等

（信用失墜行為の禁止）

第四十条 公認心理師は、公認心理師の信用を傷つけるような行為をしてはならない。

（秘密保持義務）

第四十一条 公認心理師は、正当な理由がなく、その業務に関して知り得た人の秘密を漏らしてはならない。公認心理師でなくなった後においても、同様とする。

<以下略>

<参考資料②：個人情報の保護に関する法律（抜粋）>

第一章 総則

（定義）

第二条 この法律において「個人情報」とは、生存する個人に関する情報であつて、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

一 当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等（文書、図画若しくは電磁的記録（電磁的方式（電子的方式、磁気的方式その他の他人の知覚によっては認識することができない方式をいう。次項第二号において同じ。）で作られる記録をいう。以下同じ。）に記載され、若しくは記録され、又は音声、動作その他の方法を用いて表された一切の事項（個人識別符号を除く。）をいう。以下同じ。）により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と容易に照合することができる、それにより特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）

二 個人識別符号が含まれるもの

（以下略）

参考

一般社団法人日本公認心理師協会倫理委員会(2022). ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を利用した情報発信における留意点. Retrieved January 11, 2023, from

https://www.jacpp.or.jp/document/pdf/socialnetworkservice_20221110.pdf

●修士課程 2 期・学内推薦2期入学試験

【専門科目】（試験時間：90分）

問題1 以下の1～10に当てはまる適切な専門用語を解答欄に記入してください。

- (①)とは、過度な不安や恐怖を喚起する刺激に持続的に直面することにより、これらを軽減することを目的とした認知行動療法における治療技法の総称である。
- (②)とは、接客業や対人援助職従事者が、広義のクライアントとの相互作用場面において、明示的・暗黙的に定められた規則に基づき、職務の一環として、自らの感情の表出および経験を適切に管理するプロセス、またはそれが求められる労働を指す。
- (③)とは、心理的発達のある特定の段階で本能や関連する自我の発達が部分的に停滞し、その段階に特有の本能満足のあり方や防衛規制が強く存続していることをいう。
- 危機に陥った個人やコミュニティが危機以前の均衡状態を取り戻すために行う短期的な援助を(④)という。
- 自律訓練法とは、(⑤)によって段階的に全身の筋肉の緊張を解きほぐして自律神経のバランスを回復させる自己催眠法・リラクゼーション技法である。
- 全身の各部位に焦点を当て、筋組織の緊張と弛緩を繰り返すことにより得られる感覚にもとづき、不安やストレスの軽減を図るリラクゼーション法を(⑥)という。
- ベイトソン(1972)が提唱した関係性のパターンに関する概念枠。逃げられない関係の中で、異なるコミュニケーションレベルにおける矛盾したメッセージが繰り返される状況を(⑦)とし、統合失調症を引き起こす必要条件とした。
- 個人にとって脅威となるような心の痛みや葛藤をもたらす不安・衝動・欲求・感情・観念・体験などを回避し、自尊心を維持するために働く、自我による無意識の心的処理過程を(⑧)という。
- 生体の内部環境が安定した状態に保たれることを(⑨)と言う。
(⑩)とは、困難または脅威的な状況にもかかわらず、うまく適応するプロセス、能力、あるいは結果のことである。

出典：臨床心理学中事典 遠見書房

問題2 次の用語の要点について、日本語で簡潔に説明してください。

- (1) 宣言的記憶
- (2) 脱中心化
- (3) ソーシャル・エモーショナル・ラーニング
- (4) 実行機能
- (5) エモーション・フォーカスト・セラピー

問題3 以下の研究レポートを読み、次頁の設問に答えてください。なお、研究内容は全て本試験用に作成された架空のものであります。

《研究レポート》

【目的】

大学生を対象とした新しい教授法の効果について検討する。

【方法】

▶調査対象者： 教員X, Yがそれぞれ担当する初年次教育のA, B, C, Dクラスの履修者全員を対象とした。履修者数はA, B, C, Dクラスの順に20名, 50名, 30名, 40名であった。なお、初年次教育履修者は全員が入学直後であり、事前知識や能力はほぼ同程度と考えられる。

▶手続き： 新しい教授法による授業を、教員X, YがそれぞれA, Bクラスで行った。また、実験群に対する（ ① ）として、C, Dクラスはそれぞれ教員X, Yにより従来通りの教授法で授業を行った。各クラスにおいて、授業を行う前後に小テストを実施した。

【結果と考察】

各クラスにおいて、授業前と授業後の小テスト得点の平均値を算出した。新しい教授法の効果として、授業後の小テスト得点が増加したかどうかを検証するため、クラスごとに対応の（ ② ） t 検定を行った。その結果、表1のような結果が得られ、（ ③ ）クラスにおいて、5%水準で（ ④ ）が認められた。また、（ ⑤ ）を示す指標として、Cohenの d を算出した。表1の結果より、新しい教授法には効果があったと考えられる。

表1 各クラスの小テスト得点

	授業前		授業後		平均値差の95%信頼区間		t 値 (df)	Cohen's d
	Mean	(SD)	Mean	(SD)	Lower	Upper		
A(n=20)	71.30	(23.02)	75.90	(18.98)	-3.40	12.60	1.20 (19)	0.22
B(n=50)	71.14	(21.04)	75.32	(19.79)	0.19	8.17	2.10* (49)	0.21
C(n=30)	71.83	(22.17)	75.47	(19.29)	-1.28	8.55	1.51 (29)	0.18
D(n=40)	72.23	(20.78)	75.65	(19.74)	-1.18	8.03	1.50 (39)	0.17

** $p < .01$, * $p < .05$

問1 《研究レポート》文中の（ ① ）～（ ⑤ ）に当てはまる適切な語句を記入してください。

問2 上記の t 検定における帰無仮説として、次の記述のうち適切なものを1つ選んでください。

- A：授業前と授業後の小テスト得点の差 d の期待値 μ_d について、 $\mu_d = 0$
- B：授業前と授業後の小テスト得点の差 d の期待値 μ_d について、 $\mu_d \neq 0$
- C：授業前と授業後の小テスト得点の差 d の期待値 μ_d について、 $\mu_d > 0$
- D：授業前と授業後の小テスト得点の差 d の期待値 μ_d について、 $\mu_d \geq 0$

問3 上記の t 検定の結果は、平均値差の95%信頼区間からも確認することができます。どのような点から確認できるか、説明してください。

問4 【結果と考察】文中下線部の結論は適切ではありません。その理由をできるだけ多く挙げてください。

● 出題意図・解答例

■ 1期

【英語】

出題意図

英語で書かれた心理学の論文や文献を読む力を調べる問題である。特に、児童の支援や青年期の心理療法の注意点について、その基本的な知識を用いながら読解や翻訳することを求めた。

解答及び解答例

問題 1

【問題 1】

子どもは自分の感情を遊びで表現し、そのすべてがセラピストに受け入れられる経験を始めることで、より感情表現に関わっていく。またセラピストによって感情が受容され、言葉で映し返されることで、子どもは自身の感情を確かめることができ、自己信頼が促進される。

【問題 2】

- 1) セラピスト側の「Andy (子ども) を安心させたい」という欲求
- 2) セラピストはより良い感情を体験するが、Andy (子ども) の感情を無視することになり、Andy (子ども) は「セラピストに理解されていない」と感じる。

【問題 3】

「あなたは、ママがあなたに意地悪をしてきそうで、あなたのことを傷つけそうだと感じて、本当に怖いだね。」

問題 2 の解答例

- ① 思春期は秘密を持つ時期であり、大人は治療が緊急であることに同意する一方で、思春期の青年は同意しないということはしばしば見られる。
- ② おそらく思春期の青年が治療に抵抗を示す理由の中心の一つは、成長するためには大人からの助けが必要であるという屈辱感である。
- ③ 三者関係と二者関係の態勢の間を急に移り変わるので、治療者は思春期の青年患者との正しい関係のあり方を見出すのが難しいことが多い。
- ④ あるセッションでは、治療者は感情が言語化されるような相互関係があると感じるかもしれないが、次のセッションは、治療者は無口な思春期の青年に直面することになる。彼は、治療者に十分に関わるできないか、関わる意志がなく、愚かな振りや軽蔑した態度の陰に隠れてしまう。

【小論文】

出題意図

近年の臨床心理学において重要な概念・トピックに関して、十分な知識及び論述する能力があるかを問う問題である。

【専門科目】

出題意図

1. 広範な領域から、重要かつ基本的な用語の知識があるかを問う問題である。
2. パーソナリティ、心理尺度、発達、臨床心理学など広い領域から、重要かつ基本的な用語の知識および論述する能力があるかを問う問題である。
3. 研究に関する重要で基本的な知識・論述する能力があるかを問う問題である。

解答及び解答例

問題 1

- ① 単純接触効果 または ザイオンス効果
- ② 保存性 または 保存の概念
- ③ 共感覚
- ④ 作為体験 または させられ体験
- ⑤ 発達性協調運動症、発達性協調運動障害 または DCD
- ⑥ ウェルニッケ
- ⑦ ストループ
- ⑧ ノンパラメトリック法 (検定)
- ⑨ 刺激般化・般化
- ⑩ 認知的不協和

問題2

(1) 内田クレペリン作業検査

クレペリン (Krapelin, E.) の研究に着想を得た内田勇三郎が開発した作業検査法。一桁の足し算を1分毎に行を変えながら、休憩をはさみ前半と後半で各15分間ずつ合計30分間行う。作業量や作業曲線、誤答などから、能力面と性格・行動面の特徴を総合的に評価する。

(2) 不安階層表

系統的脱感作法で用いられる、不安が起こる場面とその程度を整理した表。治療者は患者から不安が起こる場面を聞き出し、それに点数をつけさせることによって、それぞれの場面の不安の程度を順序づけていくという手続きがとられる。

(3) 縦断的および横断的研究法 (の長所と短所)

異なる年齢の集団それぞれへの同一課題の実施により、各年齢の特徴を抽出し、比較するのが横断的研究であり、特定の個人や同一の対象集団を長期間追跡するのが縦断的研究である。前者は大量のデータを短期間に得られるため、発達や変化の一般的傾向の把握に向くが、個人の発達の連続性は把握できない。後者は個人の発達の一貫性や変化の因果関係を捉えられるが、一般化が難しい。

(4) 学習性無力感

セリグマンによって報告されたイヌの実験で、回避や対処が不可能な嫌悪事象を反復して経験することによって、その後の解決可能な課題に対する学習が阻害される現象のこと。同様の現象はヒトにおいても生じることが知られており、抑うつなどの原因の一つと考えられている。

(5) ピグマリオン効果

学習者に対して教師がもつ期待が、当該学習者の能力の向上につながる現象のこと。教師期待効果ともよばれる。小学校で新年度の前に知能検査を行い、その結果と称して無作為抽出した複数の子どもについて、能力が向上するだろうという情報を教師に与えたところ、能力の向上の期待を抱かせる対象となった子どもにおいて、8か月後の知能検査の得点の伸びが大きかった。

問題3

【問1】

3

【問2】

共通性とは、各項目得点の分散のうち、共通因子によって占められる分散の割合を意味するため、この値が低い場合、その項目は共通因子との関連が弱く、項目そのものの独自性が強いことを意味している。また、因子負荷量は、観測変数と共通因子との相関係数に相当し、因子負荷量が低い場合、その項目は共通因子によって十分に説明できないことを意味する。

【問3】

遅刻や欠席が多くても、一番多い科目だけを取りあげているため、遅刻や欠席の実態を十分に測定できていない可能性がある。たまたま、嫌いな科目が1つあって、その欠席が8回の人も、複数の科目で最大8回遅刻や欠席をしている人も、同じ値になってしまうのが問題である。この問題に対応するために、直近の半期間に履修したすべての授業を対象にして、平均すると全15回中、何回、遅刻や欠席があったかを回答していただくと、遅刻、欠席をより正確に測定していることになる。

*基準関連妥当性の検証で扱う、基準変数の問題が指摘しており、改善のための具体的な提案がなされていること。

【問4】

2

【問5】

調査の実施の仕方が、必ず回答するように求められており、強制的である点が問題である。また、オリエンテーションの出欠席の把握を兼ねているため、本人が特定されることも問題である。

*その他、再検査を実施し、協力者に負担がかかることなど配慮が必要な事項が問題点として挙げられていること。

《問題1の問題文 および 問題2の模範解答の出典》

日本認知科学会 (2002). 認知科学辞典. 共立出版.

恩田・伊藤 (1999). 臨床心理学辞典. 八千代出版.

子安・丹野・箱田 監修 (2021). 有斐閣 現代心理学辞典. 有斐閣.

岡本・清水・村井 監修 (1995). 発達心理学辞典. ミネルヴァ書房.

梅津・相良・宮城・依田 (1981). 心理学事典. 平凡社.

■2期

【英語】

出題意図

英語で書かれた心理学の論文や文献を読む力を調べる問題である。特に、社会的認知に関する知識や愛着について、その基本的な知識を用いながら理解・翻訳することを求めた。

解答及び解答例

問題1

- ①1970年代以降、心理学者は誤った情報が訂正された後であってもなお誤った信念が残存することがあるのを示してきた。
- ②「後で訂正を聞いたとしても我々の考えは無効にはならない。元々の情報が嘘であったとわかったとしてもなお偏りを持ち続けることができるのが、まさに我々自身の考えなのである。」
- ③シュワルツは情報が正しいかどうか判断する時に人々が用いる5つの基準を特定している。他の既知の情報と辻褃が合うこと、情報源が信用できること、他の人達も信じているかどうか、その情報が内的に整合性（一貫性）があるかどうか、支持する根拠があるかどうか。

【問題1】

(ア) 再評価 (イ) 民間の知恵 (ウ) 世代間伝達 (エ) 内在化 (オ) 一貫性

【問題2】

英語：avoidant 日本語：回避型

【問題3】

②・⑤

【小論文】

出題意図

近年の臨床心理学において重要な概念・トピックに関して、十分な知識及び論述する能力があるかを問う問題である。

解説

法と倫理の違いを踏まえ、心理職としての情報の取り扱い方について理解し、論ずることができるかを問う問題です。

まず個人情報の保護に関する法律の観点から考えると、当該ツイートはツイートした本人、クライアントともに個人を特定することはほぼできず、同法が規定する保護すべき個人情報には当たらないと考えられます。また就職が決まったこと、それをクライアント本人が報告して回っていることを示唆する内容から考えると、このことが公認心理師法第41条における「業務に関して知り得た人の秘密」であるとも言え切れず、同条が規定する秘密保持義務に反するとも断定はできません。

一方、心理職の職業倫理の観点から考えると、不特定多数の人が閲覧できるこのようなツイートをするのは、心理職がその業務の中で聞いた話をどのように扱うか、読んだ者に疑念を呼び起こすことは十分に考えられ、問題があると言えます。またクライアント本人が当該ツイートを目にすることも考えられます。さらにこのアカウントが行った他のツイートや使用している写真などから、このアカウント本人が特定されたり、クライアント個人を推測されたりする可能性も無いとは言え切れません。例えクライアント本人が「良いこと」と考え、「報告して回っている」ことであっても、職業倫理的には知り得た情報を広く「秘密」と捉え、情報の発信には慎重であるべきで、このツイートは倫理的に問題があると言えます。

また、こうした倫理的に問題があると考えられる行為をすることは、公認心理師法第40条が規定する「信用失墜行為」にあたる可能性もあります。

「法は倫理の最低限度」と言われるように、法的には問題のない行為であっても、倫理的に問題となることがあります。本問題では、法と倫理の違いを踏まえながら、このツイートにおける心理職の情報の取り扱いに関する倫理的な問題を論理的に説明できることを求めています。

なお、使用したツイートは、架空のものです。

参考

一般社団法人日本公認心理師協会倫理委員会(2022). ソーシャルネットワーキングサービス (SNS) を利用した情報発信における留意点.Retrieved January 11, 2023, from

https://www.jacpp.or.jp/document/pdf/socialnetworkservice_20221110.pdf

【専門科目】

出題意図

1. 広範な領域から、重要かつ基本的な用語の知識があるかを問う問題である。
2. パーソナリティ、心理尺度、発達、臨床心理学など広い領域から、重要かつ基本的な用語の知識および論述する能力があるかを問う問題である。
3. 研究に関する重要で基本的な知識・論述する能力があるかを問う問題である

解答及び解答例

問題1

- ①エクスポージャー または 暴露
- ②感情労働
- ③固着
- ④危機介入
- ⑤自己暗示
- ⑥漸進的弛緩法（漸進的筋弛緩法）
- ⑦ダブルバインド または 二重拘束
- ⑧防衛機制
- ⑨ホメオスタシス または 生体恒常性
- ⑩レジリエンス

問題2

(1) 宣言的記憶

言葉やイメージで表現することのできる事実に関する記憶のことで、エピソード記憶（経験の記憶）と意味記憶（知識の記憶）を含む長期記憶の一部。一定の認知活動や行動の中に組み込まれている記憶であり、必ずしも言葉やイメージで人に伝えることができるとは限らない非宣言的記憶（手続記憶）と併せて長期記憶を構成する。中島義明（1999）.心理学辞典pp.516-517

(2) 脱中心化

ピアジェは前操作期の子どもの認知的な特性として、自分自身を他者の立場に置いたり、他者の視点に立ったりすることができない自己中心性（中心化）の段階にあるとしている。この認知の限界性を脱し、多様な視点から対象を認知できるようになることを脱中心化という。中島義明（1999）.心理学辞典pp.333

(3) ソーシャル・エモーショナル・ラーニング

自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした社会性（対人関係）に関するスキル、態度、価値観を育てることで、豊かな感情表現や適応的な対人関係の構築・維持を促す予防教育プログラムの総称。長期的には学力やメンタルヘルスの向上にも効果があり、2022年改定の『生徒指導提要』においても、学校教育への積極的な導入が求められている。

渡辺弥生・小泉令三（2022）. ソーシャル・エモーショナル・ラーニング（SEL）－非認知能力を育てる教育フレームワーク－ 福村出版 文部科学省（2022）. 生徒指導提要 https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm

(4) 実行機能

複雑な課題の遂行に際し、課題ルールの維持やスッチング、情報の更新などを行うことで、思考や行動を制御する認知システム、あるいはそれら認知制御機能の総称。特に、新しい行動パターンの促進や、非慣習的な状況における行動の最適化に重要な役割を果たし、人間の目標志向的な行動を支えており、その神経基盤は一般に前頭前野に存在すると考えられている。ワーキングメモリーモデルにおける中央実行系の概念とほぼ同義。

脳科学辞典<https://bsd.neuroinf.jp/wiki/%E5%AE%9F%E8%A1%8C%E6%A9%9F%E8%83%BD>

(5) エモーション・フォーカスト・セラピー

レスリー・グリーンバーグを中心に発展した統合的ヒューマニスティックアプローチ。クライアント中心療法の共感的な治療関係を基礎として、ゲシュタルト療法、フォーカシング等を統合し、感情心理学、認知科学、情動神経科学の知見と照らし合わせ修正することで、クライアントの身体的な感情体験をより効果的に促進する技法を実証的に明確化している。

岩壁 茂・福島哲夫・伊藤絵美（2013）. 臨床心理学入門－多様なアプローチを越境する－ 有斐閣アルマ

問題3

【問1】

- ①統制群 ②ある ③B ④有意差 ⑤効果量

【問2】

A

【問3】

A, C, Dクラスは、平均値差の95%信頼区間が0をまたいでいるため、授業前後のテスト得点の平均値差が0となる可能性を否定できず、t検定の帰無仮説 $\mu d=0$ を棄却できない。Bクラスは平均値差の95%信頼区間が0を超えているため、授業前後のテスト得点の平均値差が正になることがかなり多くなると予想でき、t検定の帰無仮説 $\mu d=0$ を棄却できる。

【問4】

同じく新しい教授法で授業を行ったBクラスでは有意差が認められていない。A, Bクラスは担当教員が異なるため、教員の授業力による影響も考えられる。Bクラスのみサンプルサイズが大きいため、他クラスに比べて検定結果が有意になりやすい。効果量はいずれも小さく、意味のある得点差が生じているとは考えにくい。など。